

平成27年6月18日
教育振興部教育指導課

新たな三学期制の基本方針について（案）

練馬区では、「みどりの風吹くまちビジョン～新しい成熟都市・練馬をめざして～」を策定し、計画的に取り組む基軸のプロジェクトとして、18の戦略計画を公表した。その計画の一つに「子どもたち一人ひとりに質の高い教育を」の5年後の目標として、「児童生徒一人ひとりに応じた、きめ細かい指導や支援により、夢や目標をもち、困難を乗り越える力を備えた子どもを育成」することを掲げている。

また、平成26年「練馬区立学校の学期制および土曜日授業の在り方について」の答申では、二学期制の成果を生かした新たな三学期制を構築していく必要があると述べられている。

練馬区教育委員会では、平成19年度に二学期制の導入による効果として示した「学びの連続性の確保」、「きめ細かな指導と評価の実施」、「子供と教師が向き合う時間の確保」の3観点についての成果と課題を踏まえ、新たな三学期制の基本方針を示し、平成28年度からの実施によりビジョンの実現を目指す。

1 これまでの二学期制の成果と課題

(1) 成果

「学びの連続性の確保」では、長期休業中の夏季補充教室などを活用し個に応じた指導を充実させ学力の向上を図ることができた。「きめ細かな指導と評価の実施」では、多くの資料を基に、一人一人の児童生徒に対してきめ細かな評価を行い指導に生かすことができた。「子供と教師が向き合う時間の確保」では、長期休業前にも校外学習や研究授業などを設定でき、じっくりと学習に取り組む時間の確保につながった。

(2) 課題

「学びの連続性の確保」では、学期の区切りが土・日曜日しかなく、児童生徒が気持ちを切り替え、意欲をもって学習に取り組むことが難しい。「きめ細かな指導と評価の実施」では、長期休業前に児童生徒や保護者に対して通知表による学習評価が示されなかったり、定期考査の間隔が長くなり生徒の学習意欲が持続しなかったりするなどの課題がある。

「子供と教師と向き合う時間の確保」では、中学校は二学期制移行後も、進路指導の充実を図るための補完資料等の作成に追われ、生徒と向き合う時間が確保されにくい。

2 新たな三学期制の基本方針

(1) 学びの連続性の確保について

- 各学期および長期休業日における学びの過程を示し、学習面および生活面で目指す内容を着実に定着させていくことで、児童生徒一人一人が新たな課題や目標を明確にもって次学期・次年度に臨むことを目指す。学びの過程を、一学期は形成期、二学期は充実期、三学期は発展期、長期休業日は課題克服・伸長期と位置付け、一年間を通して児童生徒の学びを連続させ、教育の質を高める。(別紙参照)
- 長期休業日のうち、一学期終了後の夏季休業日を二学期に、二学期終了後の冬季休業日を三学期に位置付け、長期休業日を学習期間として有効に活用する。
- 中学校では、定期考査の間隔が短くなり学習のポイントが明確になる。これによって、生徒の学習意欲の持続を図る。

(2) きめ細かな指導と評価の実施について

- ・ 二学期制よりも短い間隔で指導と評価をきめ細かく行い、通知表の発行回数を2回から3回に増やし、児童生徒や保護者に対しての学力の定着状況を確実に提供する。
- ・ 中学校では通知表の発行回数が増えることで、生徒・保護者と学校とが学力の状況をより密に共有し、3年生の進路選択の資料の一つとしての活用を図る。
- ・ 二学期制の成果を生かして夏季休業日における夏季補充教室などを活用し、個に応じた指導を充実させ学力の定着を図る。

(3) 子供と教師が向き合う時間の確保について

- ・ 次期学習指導要領の改訂を見据え、指導計画や評価規準、学校行事について見直しを行い、子供と教師が向き合う時間を確保することを目指す。
- ・ 長期休業日を学期の節目とし、各学期で児童生徒が課題や成果を振り返り、次学期・次学年では新たな気持ちで目標に向かって取り組めるようにする。
- ・ 二学期制の成果を生かして始業式、終業式当日に授業を実施するなど、授業と行事の在り方について見直しを図る。

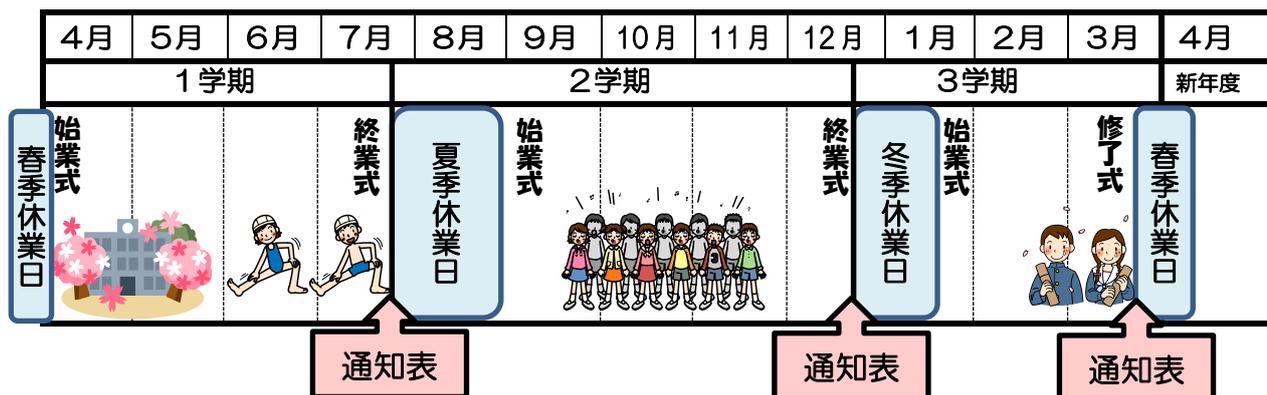
3 年間の日程

(1) 学期の区分

一学期	4月 1日から	7月 20日まで
二学期	7月 21日から	12月 25日まで
三学期	12月 26日から	3月 31日まで

(2) 長期休業日

夏季休業日	7月 21日から	8月 31日まで
冬季休業日	12月 26日から	1月 7日まで
春季休業日	3月 26日から	4月 5日まで



新たな三学期制における学びの連続性のイメージ

一学期	【形成期】	<ul style="list-style-type: none">●学年に応じた学習方法、学習習慣や態度の定着を図り、自ら進んでお互いに協力しながら進める学習に取り組ませる。(発言のルールや聞き方、ノート書き方、グループ学習の進め方などを教え、集団で学習するための学び方の基礎を繰り返し指導する)●教師と児童生徒、児童生徒同士の間関係の基礎づくりを行い生活のリズムを整える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"><p>一学期の通知表の発行</p><ul style="list-style-type: none">・一学期の学習と生活の成果と課題を伝える。・夏季休業中の取組や二学期の目標を伝える。</div>
二学期	【夏季休業日】 〔課題克服・伸長期〕	<p>【家庭では】</p> <ul style="list-style-type: none">・二学期に向けた準備をさせる。・一学期までの個々の課題や苦手な教科、学習内容を確実に習得するための復習や予習、個々の興味関心に応じた課題等に取り組ませる。 <p>【学校では】</p> <ul style="list-style-type: none">・二学期の学習指導の改善に結び付けるため、一学期の児童生徒の学力や学習状況を分析・検証する。・夏季補充教室や個別学習等を実施し、個に応じた指導を充実させる。
	【充実期】	<ul style="list-style-type: none">●一学期までに身に付けた学習方法や知識、学習習慣や態度を基にして、児童生徒が課題をもって主体的に話し合い、聞き合って進める学習を充実させる。●一学期までに築いてきた人間関係を基に、安心感のある人間関係の中で生活し、連帯感や所属感を高める。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"><p>二学期の通知表の発行</p><ul style="list-style-type: none">・二学期の学習と生活の成果と課題を伝える。・冬季休業中の取組や三学期の目標を伝える。</div>
三学期	【冬季休業日】 〔課題克服・伸長期〕	<p>【家庭では】</p> <ul style="list-style-type: none">・三学期に向けた準備をさせる。・二学期までの個々の課題や苦手な教科、学習内容を確実に習得するための復習や予習、個々の興味関心に応じた課題に取り組ませる。 <p>【学校では】</p> <ul style="list-style-type: none">・二学期の学力や学習状況の成果と課題を基に、三学期の学習指導の改善を図ります。
	【発展期】	<ul style="list-style-type: none">●一年間で身に付けた学習方法、学習習慣や態度等、学習面での成長を振り返り、成果と課題を自覚させるとともに、学習の総仕上げを行う。●一年間で培ってきた人間関係の良さや生活面での成長を振り返り、より望ましい人間関係を築くとともに成果と課題を自覚させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"><p>三学期の通知表の発行</p><ul style="list-style-type: none">・三学期や一年間の学習と生活の成果と課題を伝える。・春季休業中の取組や次年度の目標を伝える。</div>
	【春季休業日】 〔課題克服・伸長期〕	<p>【家庭では】</p> <ul style="list-style-type: none">・学年を通じての個々の課題や苦手な教科、学習内容を確実に習得するための反復学習や、個々の興味や関心に応じた課題に取り組ませる。 <p>【学校では】</p> <ul style="list-style-type: none">・一人一人の成果と課題について、つぎの学年や進学先への引き継ぎを行う。